

総額・追加料金チェック表

Aは支払い済み、Bは残る支払い、Cは新たな追加分。3つを混ぜずに確認します。

記入日 年 月 日 見積書の日付・有効期限：

対象の契約・部位： 追加の予定回数： 回

契約書・支払明細・見積書を手元に用意します。不明な金額は「未確認」と記入し、0円にしません。

AとB 既存契約の確認	金額と確認メモ
A 支払い済みの金額	金額： 円 確認日： 対象・内訳：
B これから残る支払い	金額： 円 確認日： 残りの分割手数料などを含むか：

C 今回新たに追加する支出

項目	単価 円	回数	小計 円	当てはまるものに○
追加施術 部位：				確定・見込・未確認・不要
麻酔				確定・見込・未確認・不要
剃毛・剃り残し対応				確定・見込・未確認・不要
診察・薬・処置の追加分				確定・見込・未確認・不要
交通費				確定・見込・未確認・不要
分割手数料の未算入分		一式		確定・見込・未確認・不要
その他：				確定・見込・未確認・不要

金額は税込。単価×回数で計算し、コース料金は一式で記入。含まれる項目は二重に足しません。

C	新たに追加する支出の合計	円
B + C	これからの支出の合計	円

未確認がある間は、合計に「 + 未確認分」と添えてください。AはB + Cに加えません。

新たな追加分の予算上限： 円 □ 予算内 □ 見直す □ 未確認あり

B+Cを支払う期間： 家計の見通し： ☐ 無理がない ☐ 要確認

条件で変わる費用・金額：

確認する条件： □ 予約変更・キャンセル □ 有効期限・延長 □ 解約・返金 □ その他

次に聞くこと・相手・期限：

記入例で確認する総額

架空の金額を使った計算例です。料金相場や必要な施術回数を示すものではありません。

例の前提

既存の契約は120,000円。そのうち80,000円を支払い済みで、40,000円が残っています。追加5回の見積もりを検討中です。既存契約は変更せず、この例では分割手数料などの別途費用はないものとします。

区分	金額	意味
A 支払い済み	80,000円	すでに支払った金額
B 残る支払い	40,000円	既存契約から今後支払う金額

C 追加5回を選んだ場合の新たな支出

項目	計算	小計
追加施術5回	コース一式	60,000円
麻酔を5回利用	2,000円 × 5回	10,000円
往復の交通費	400円 × 5回	2,000円
その他の費用	この例では発生なしと確認	0円
C 新たな追加分の合計		72,000円

これから支払う金額は B + C

40,000円 + 72,000円 = 112,000円

Aの80,000円は支払い済みなので、これから必要なお金には含めません。

予算と比べるとき

新たな追加分の予算が70,000円なら、Cは2,000円オーバーです。範囲や条件、別の選択肢を持ち帰って検討します。Bを含めた112,000円の支出時期も確認しましょう。

未確認の扱い

麻酔代がまだ不明なら「62,000円 + 麻酔代未確認」と記入します。返金や割引も条件が確認できるまで先に差し引きません。この金額は今回の見積もりの想定で、卒業までの費用や効果を保証するものではありません。